

平成 22 年度策定



阿南町『水循環・資源循環のみち2010』構想

南信州 祭り街道の里

【Ver1.0】

阿南町は、南アルプスと中央アルプスに挟まれ、南アルプスのふもとを流れる天竜川の上流に位置し、豊かな自然に恵まれた地で発展をしてきました。

「輝くあなん」を町政の目標、「若者に夢をお年寄りに安心を」を町づくりの基本理念とし、町民による町民のための輝く町づくり計画を住民の皆様と一体になった推進を進めています。

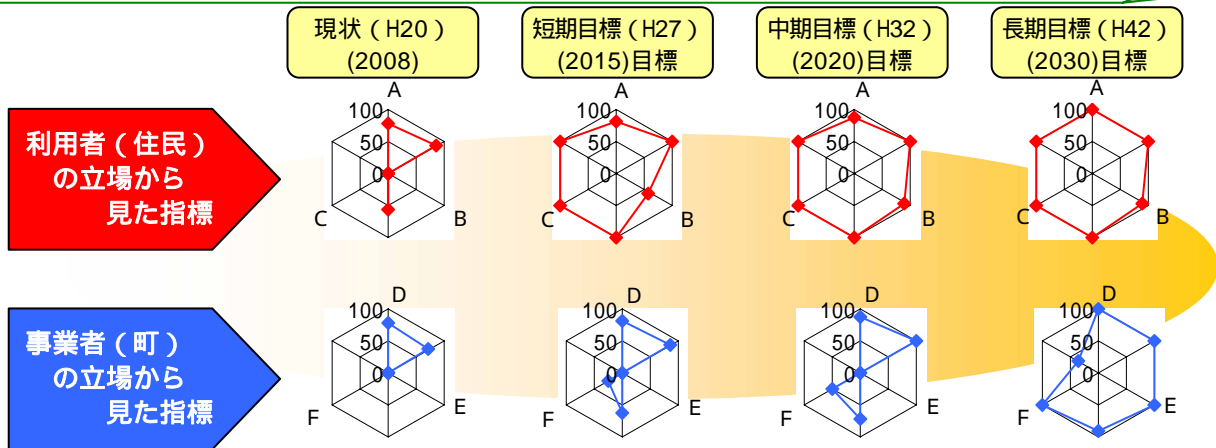
生活排水対策は、平成3年から農業集落排水事業に着手し整備は完了していますが、まだまだ浄化槽整備が残っており、人口減少や高齢化社会へ対応した町全体の課題の1つとなっています。

このため、将来を見据えた経営計画等の見込みをたて、汚泥処理の対応、維持管理の効率化等を検討し、生活排水の持続的な運営と町の基本理念の実現に向け、20年後までの生活排水対策の構想「阿南町 水循環・資源循環のみち2010」構想を策定しました。



阿南町の将来目標

阿南町では、構想の目標年度である20年後を見据えて、利用者（住民）の立場から見た指標と事業者（町）から見た指標として、県下の統一指標の他、当町の現状を把握した上での独自指標を併せて設け、短期・中期・長期の目標を以下のとおり設定しました。



利用者（住民）の立場から見た指標

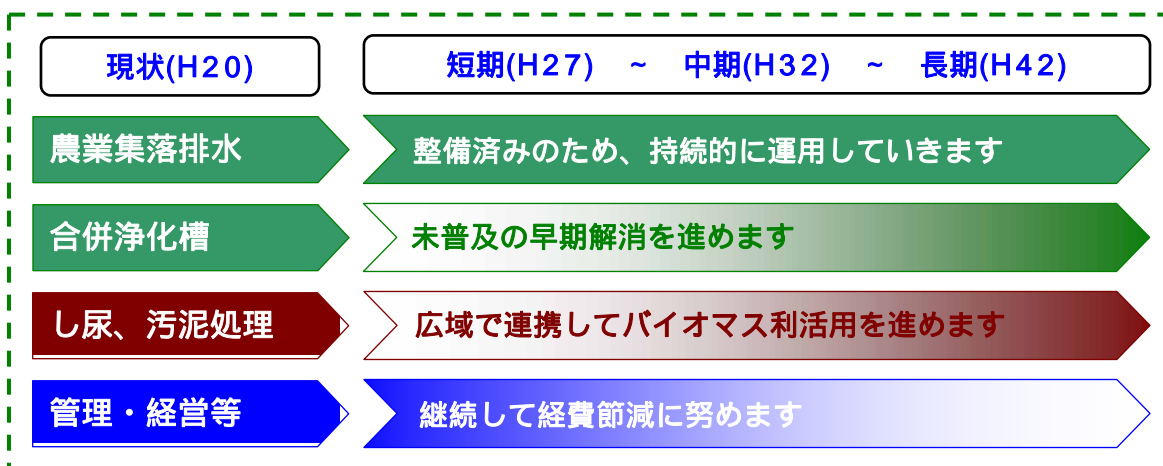
- (1) 暮らしの快適さと安全を表す評価項目
 - A：快適生活率(%) 現状H20=79、H27=81、H32=87、H42=100【統一指標】
 - ：公設トイレの水洗化率(%) 現状H20=87、H27=100、H32=100、H42=100
- (2) 環境への配慮を表す評価項目
 - B：環境改善指数現状H20=0、H27=60、H32=90、H42=90【統一指標】
 - ：浄化槽の適正管理(%) 現状H20=56、H27=100、H32=100、H42=100
- (3) 生活との関連性を表す評価項目
 - C：情報公開実施指数 現状H20=0、H27=100、H32=100、H42=100【統一指標】
 - ：せせらぎサイエンス取組指数 現状H20=0、H27=100、H32=100、H42=100
 - 【水環境学習・処理場見学取組児童数割合】

事業者（市町村）の立場から見た指標

- (1) 事業の達成度を表す評価項目
 D：污水处理人口普及率(%) 現状H20=78、H27=81、H32=87、H42=100【統一指標】
 : 浄化槽整備設置率(%) 現状H20=71、H27=86、H32=99、H42=100
- (2) 環境への貢献を表す評価項目
 E：バイオマス利活用指数 現状H20=0、H27=0、H32=0、H42=100【統一指標】
 : 浄化槽適正管理補助率(%) 現状H20=0、H27=64、H32=73、H42=90
 【法定検査料・維持管理費に対する補助対象基数割合】
- (3) 経営改善の状況を表す評価項目
 F：経営健全度現状 H20=0、H27=25、H32=50、H42=100【統一指標】
 : 農集排と浄化槽の住民負担平準化指数 現状H20=0、H27=0、H32=0、H42=37
 【現状のランニングコスト数値差を0とし、コスト差0を目標の100とする】

阿南町の取り組み

これまでも、多くの町民の皆様の御協力をいただき生活排水対策を進めてまいりましたが、これからも皆様に御理解をいただきながら持続的な生活排水対策と未普及地域の早期解消のため、下記のとおり進めてまいります。



皆様の御理解をいただきながら

これからも水と緑がうるおい、持続的に生活排水対策を持続していくため、住民の皆様との御理解と御協力をいただきながら事業を進めてまいります。

【これから、そして短期～中期～長期】

- ・ 水環境の改善や状況について住民の皆様と実感できる取組を実施
 《町内の小学校児童が、より多く生活排水の処理の仕組みを学習として取り組む》
- ・ 定期的な生活排水事業計画とその財政状況（経営状況）の公開
 《生活排水の実態を常に把握していただきながら、財政状況を周知する》
- ・ 住民の皆様からの意見募集 次回の構想への反映や経営改善への共同作業へ
 《町の生活排水処理の将来像をアンケートや意見交換会を通して共有する》

【お問い合わせ】〒399-1511（専用郵便番号） 長野県下伊那郡阿南町東條 58 番地 1
 阿南町役場（あなんちょうやくば） TEL：0260-22-2141 FAX：0260-22-2576

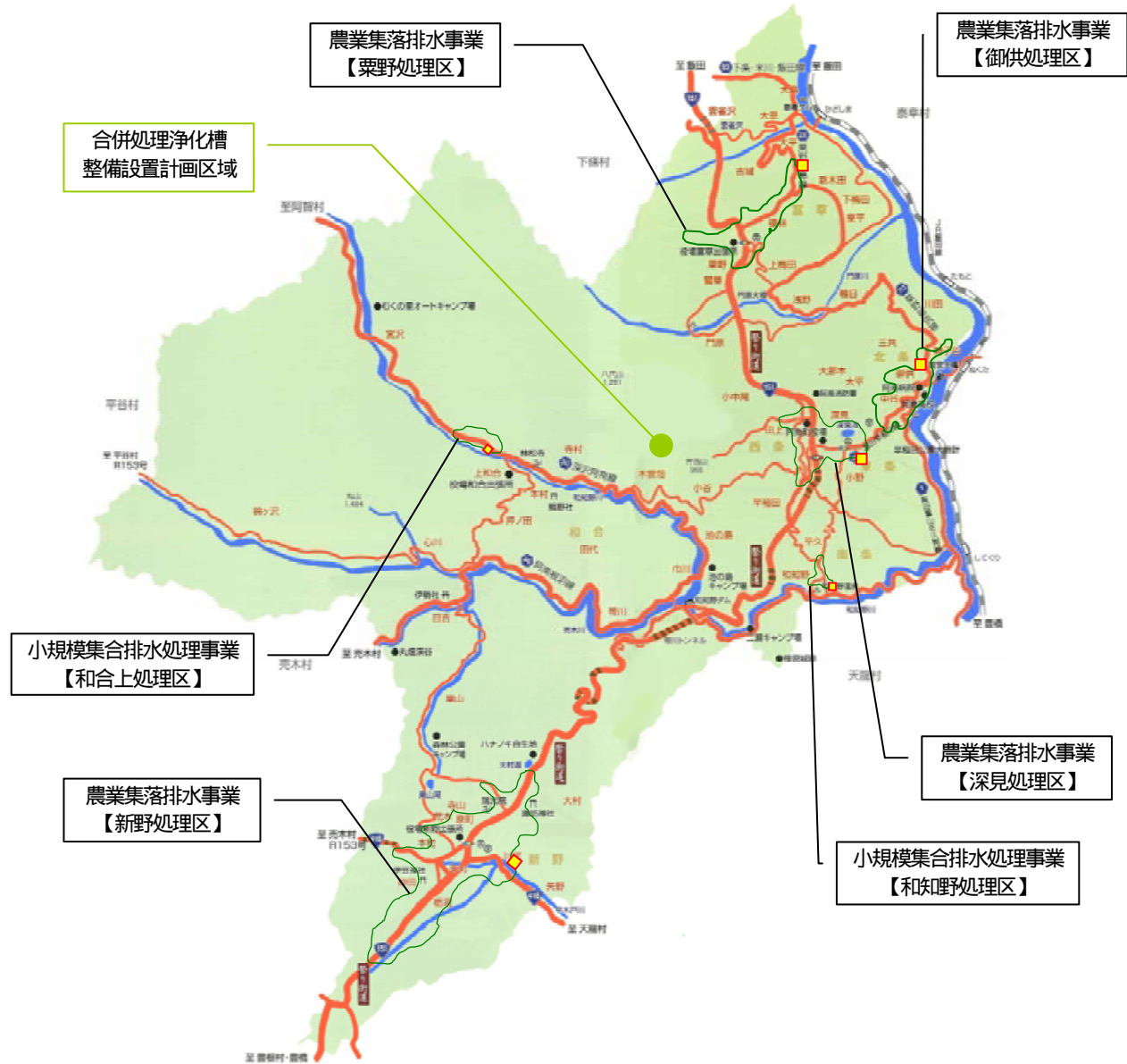
平成 22 年度策定

阿南町 『生活排水エリアマップ 2010』
 南信州 祭り街道の里 【Ver1.0】

これまでの取組と今後の方針

阿南町の生活排水施設整備は、平成3年度に汚水処理施設整備構想エリアマップを作成し、農業集落排水事業と浄化槽事業で整備を行う方針を明確にした上で、まず農業集落排水新野・粟野地区に着手し、その後、和合上、深見、和知野、御供地区の農業集落排水整備と併せ、平成3年からは浄化槽による整備も進めてきました。

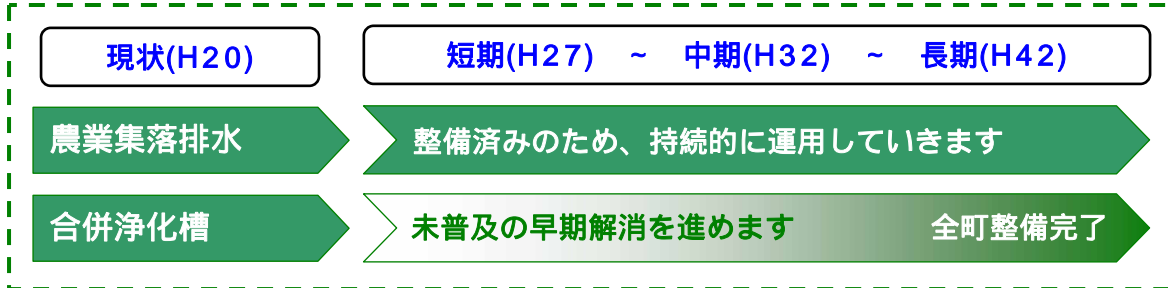
これまでの取組により、農業集落排水区域の整備は終了しましたが、それ以外の区域での浄化槽整備が残っているため、出来る限り早期に生活排水施設を設置していけるよう進めてまいります。



エリアマップでの取組方針

集合処理である農業集落排水施設整備は完了していますので、個別処理となる浄化槽による整備を推進してまいります。

未普及地域は、浄化槽により長期の平成42年度までには全町整備完了を目指します。



エリアマップでの取組目標

大規模地震等に備えた対策

地震被害想定へ向けた取組

- ・被害想定や重要施設の耐震化を随時行っていきます。

地震対策へ向けた取組

【短中期】避難所の簡易トイレ整備、事業継続計画等を検討します。

【中長期】被害想定の下、ソフト対策を含む総合的な対策を検討します。

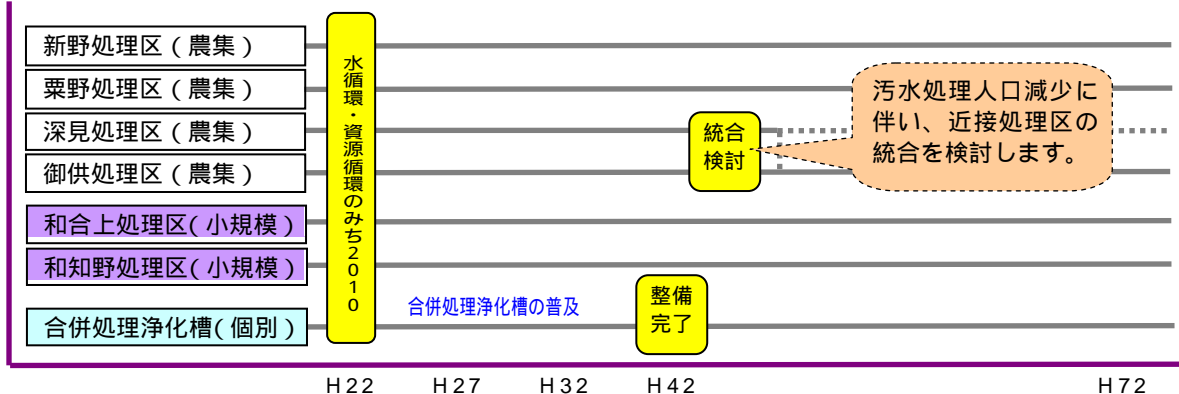


施設統合に向けた検討

汚水処理人口減少に伴う現存の農集排水処理施設統合

- ・複数の処理区の距離が近く、今後汚水処理人口が減少した場合の処理施設統合を検討し、維持管理等の経費削減を取り組みます。

エリアマップでの取組タイムスケジュール



【お問い合わせ】 ☎399-1511 (専用郵便番号) 長野県下伊那郡阿南町東條 58 番地 1
 阿南町役場(あなんちょうやくば) TEL: 0260-22-2141 FAX: 0260-22-2576

平成 22 年度策定

阿南町 『バイオマス利活用プラン 2010』

南信州 祭り街道の里 【Ver1.0】

これまでの取組と今後の方針

阿南町の生活排水施設から発生する汚泥（バイオマス）は、農業集落排水汚泥、浄化槽汚泥、し尿とし尿処理施設で処理されています。また、現在の処理方法は焼却後、焼却灰を埋め立て処理しています。



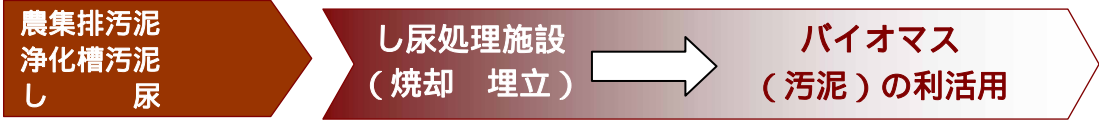
今後は、し尿処理施設の方針もありますが、人口減少とともに汚泥量の減少、し尿の減少が見込まれるため、飯田下伊那地域内にある現施設の耐用期間後を見据えて、広域で施設運営や処理方法について検討を行い、飯田下伊那へ広域処理施設建設を含め、管理コスト低減とバイオマス有効活用を推進してまいります。

バイオマス処理の現状と将来

現状(H20)

短期(H27) ~ 中期(H32) ~ 長期(H42)

【現状】汚泥（バイオマス）は、焼却後、埋立処理されています



【将来】は経費節減と利活用を進めます

【汚泥量の推移】

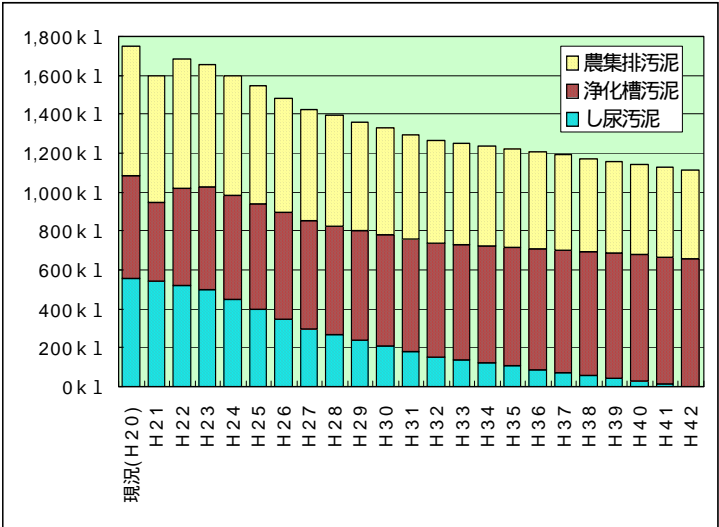
農集排汚泥は、接続口数は微増するも、人口減に伴い加入者数が減少することにより減少

し尿汲取り世帯から浄化槽設置世帯に移行することに伴い、浄化槽汚泥は増加するが、生し尿汚泥は激減する。

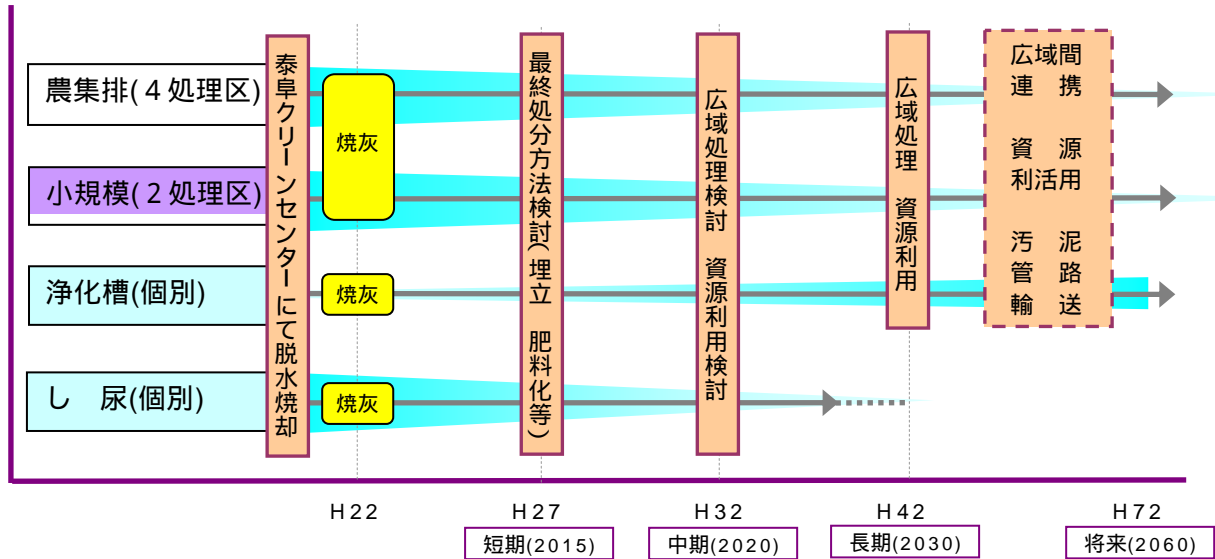
20 年後の総発生汚泥量は、現況 1750 ｷｯﾄﾙから 1100 ｷｯﾄﾙへと 2 / 3 に減少する。

⇒ 将来的には飯田下伊那地域全体でも汚泥量減少が見込まれる。

⇒ 広域での汚泥(バイオマス)利活用が効率的な状況になる。



バイオマス利活用タイムスケジュール



短期 中期にかけて
現状の埋立処分を 農地還元に向けた取組

中期 長期にかけて
下伊那南部から 飯田下伊那地域に向けた取組

長期 将来にかけて
飯田下伊那地域が一体となった取組

飯田下伊那地域の広域的なバイオマス利活用プラン

広域的バイオマス利活用を進め、地域の資源循環を推進します。

【中期】

下伊那南部地域の最終処分方法を「埋立」から「肥料化」等へ 資源循環に向けた検討

【長期】

飯田下伊那地域のそれぞれの生活排水汚泥について、広域的な処理方法等の検討や 次世代施設の場所選定の取組

【将来】

飯田下伊那地域の生活排水汚泥を一括集約処理し バイオマス利活用の取組



【お問い合わせ】〒399-1511 (専用郵便番号) 長野県下伊那郡阿南町東條 58 番地 1
阿南町役場 (あなんちょうやくば) TEL : 0260-22-2141 FAX : 0260-22-2576

平成 22 年度策定

阿南町
南信州 祭り街道の里

『経営プラン 2010』
【Ver1.0】

これまでの取組と今後の方針



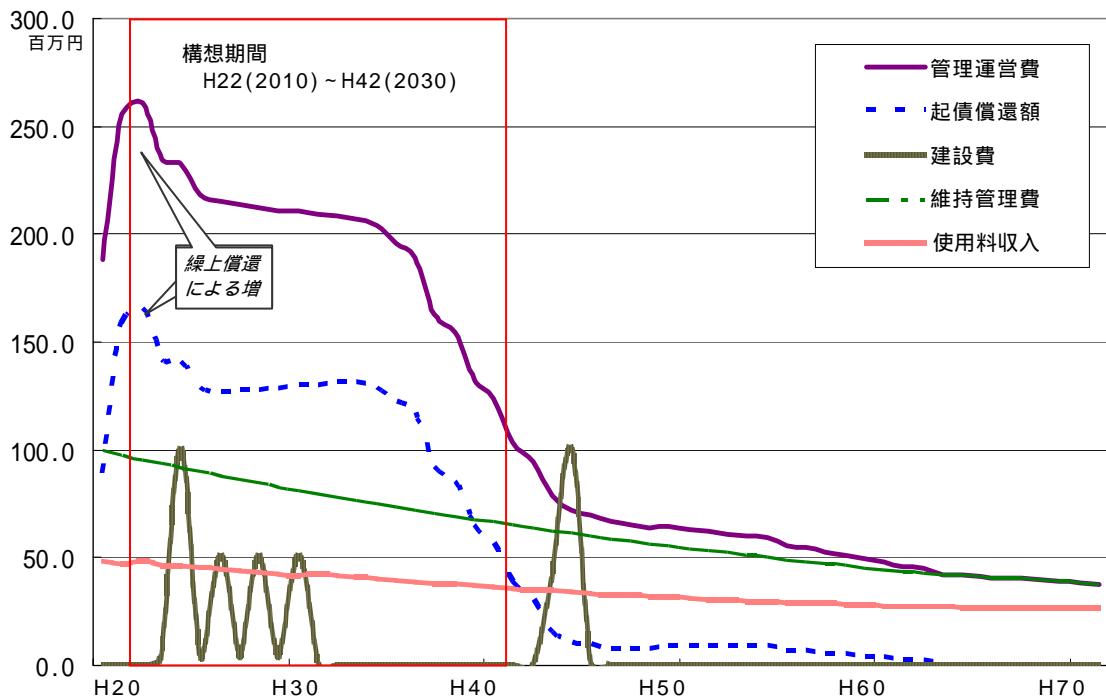
阿南町では、平成6年に農業集落排水新野・栗野処理区が供用開始して以来、和合上処理区、深見処理区、和知野処理区、御供処理区が供用開始済みとなっています。その経営状況は、使用料収入の他、一般会計からの繰入により賄われています。

このため、将来にわたって持続可能な経営を検討していく必要があります。50年先の状況まで見通した上で、構想の策定目標年度の20年後までに行える改善計画を検討した上で、経営計画を策定し「経営プラン2010」を策定しました。

経営の状況と今後の見込み

管理経営の状況と見込み

- >> 人口減少等に伴い農業集落排水の料金収入は伸び悩み、将来的には減少する見込みのため、適正な料金設定を検討する必要があります。
- >> 維持管理費の効率化により管理経費の削減を進めてまいりますが、将来的には施設の改築更新を迎えるにあたり、一般会計からの繰入による経営状況が続く予定です。
- >> 今後、基数が増加する浄化槽については、現在、町からの管理補助金はありませんが、将来的には農業集落排水と同様に、全ての町民が同じように生活排水施設を利用していただけるような取組を行っていきます。



今後の管理経営等について

管理経営状況の明確化

- >> 経営状況を公表し町民の皆様には状況をご確認していただく取組を行います。
- >> その上で、持続的な生活排水対策について、町民の誰もが一緒になってあらゆる視点から検討していけるような取組を行います。

経営基盤の強化

- >> 使用料金について町民の皆様のご理解を得ながら適正な料金についての検討を行ってまいります。

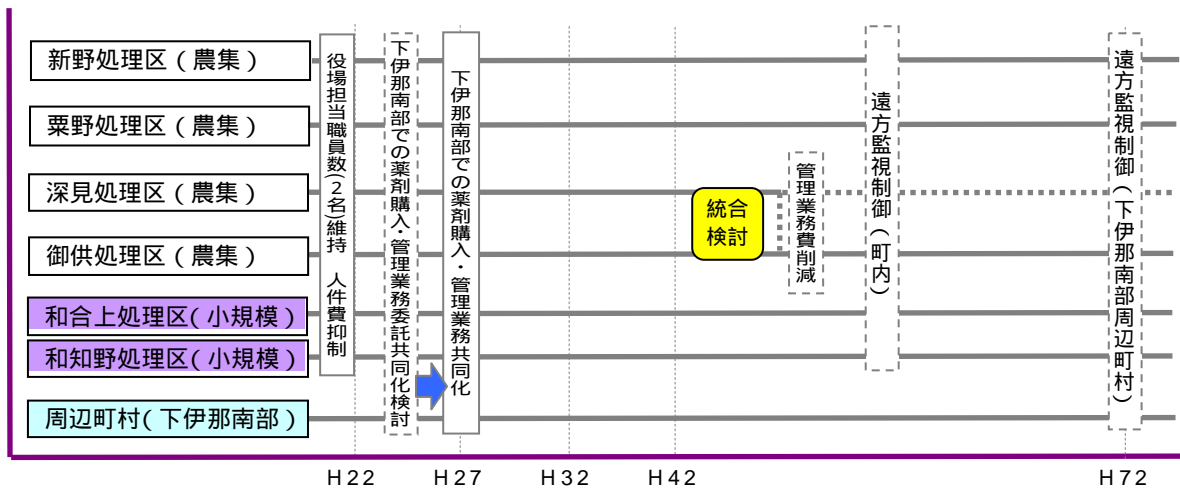
少子高齢化への対応

- >> 今後は一段と少子高齢化が進行していきますが、安心して生活排水施設を利用できるように、関係者が一丸となって対応してまいります。

維持管理費用削減への取組

少子高齢化により汚水発生量の減少を見込み、全体費用を抑制するため維持管理費用の積極的な削減への取組を行います。

広域での遠方監視制御等の取組を推進することで、更なる削減を目指します。



【お問い合わせ】〒399-1511（専用郵便番号） 長野県下伊那郡阿南町東條 58 番地 1
 阿南町役場（あなんちょうやくば） TEL：0260-22-2141 FAX：0260-22-2576